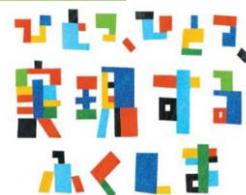


# 令和4年度 地域医療体験研修 報告集

研修日 令和4年8月19日（金）



福島県会津保健福祉事務所  
福島県南会津保健福祉事務所



# 目 次

1	実施概要	1
2	スケジュール	2
3	福島県立南会津病院 医師による講話・症例検討	3
4	南会津地方広域消防本部 職員による講話	4
5	奥会津博物館 見学・職員による講話	5
6	研修の感想	6

# 1 実施概要

## 1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療等の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

## 2 開催日

令和4年8月19日（金）

## 3 対象者

福島県立医科大学3年生

## 4 参加者

15名

## 5 研修場所

南会津町

## 6 新型コロナウイルス感染症を考慮した実施方針について

- 宿泊は行わず、日帰りでの実施。
- 参加者は福島県立医科大生のみとし、公募は行わない。
- 研修内容は、訪問先での交流は最小限として、参加者の事前の体調確認など感染対策を講じて実施。

## 2 スケジュール

月日	行程	場所
8月19日(金)	南会津病院 医師による講話・症例検討	南会津町 福島県立南会津病院
	南会津消防本部 職員による講話	南会津町 福島県南会津保健福祉事務所
	奥会津博物館 見学・職員による講話	南会津町 奥会津博物館

### 3 南会津病院 医師による講話・症例検討

【 日 時 】 8月19日（金） 10：30～12：00

【 場 所 】 南会津町 福島県立南会津病院

【 目 的 】 南会津地域で地域医療に取り組む医師による講話を通して、南会津地域における医療の現状や、医師・病院の役割及び他関係機関との連携について理解を深める。

【 内 容 】 講師 南会津病院 佐竹秀一 医師

#### 1 講話

- 南会津地域における医療の現状について、医師数や救急医療体制の観点から講義を受けました。
- 医師としてのキャリアの説明を通して、地域で求められる医師の役割について講義を受け、意見交換を行いました。

#### 2 症例検討

- 模擬患者の事例検討を通して意見交換を行い、包括的な医療の提供や、介護連携の重要性について講義を受けました。



#### 参加者の声（アンケート等より）

- ・南会津で実際に行われている地域医療や救急医療とその工夫について、具体的に知ることができた。
- ・佐竹先生の講話ではハートフルなエピソードが聞けてとても良かった。
- ・ただ治療をすればいいというだけではなく、治療後もその患者さんがどのように生活していくのかをケアすることが大事なのだなと感じました。

## 4 南会津地方広域消防本部 職員による講話

【 日 時 】 8月19日（金） 13：15～13：45

【 場 所 】 南会津町 福島県南会津保健福祉事務所

【 目 的 】 地域の救急搬送体制を担う南会津消防署救急隊による講話を通して、南会津地域の救急情勢や医療機関との連携、また新型コロナウイルス感染症対策に係る保健福祉事務所との連携について学ぶ。

【 内 容 】 講師 南会津地方広域消防本部 渡部健俊 救急係長  
1 講話

○救急搬送体制について、搬送時間短縮のための取り組み（ドッキング方式・南会津独自のストロークプロトコルの導入）等について説明を受けました。

○新型コロナウイルス感染症において、南会津保健福祉事務所との連携（クラスター発生時、移送協力）について説明を受けました。



### 参加者の声（アンケート等より）

- ドクターカーの活用やストロークプロトコルの導入など、南会津地域の救急医療では、一刻も早く患者を救うために多くの工夫がなされていると知りました。
- 大きな病院から離れた地域の救急医療に関わる方々の本気で患者を救おうとする熱意が伝わってきました。

## 5 奥会津博物館 見学・職員による講話

【 日 時 】 8月19日（金） 14：35～15：20

【 場 所 】 南会津町 奥会津博物館

【 目 的 】 南会津地域の歴史や伝統文化、生活様式の移り変わりについて学び、地域ならではの特色や、そこでの暮らしについて理解を深める。

【 内 容 】 講師 奥会津博物館 渡部康人 文化財専門員

### 1 博物館の見学

○南会津地域において、昔から使われていた生活用具の紹介を通して、当地域特有の生活様式について説明を受けました。

### 2 講話

○南会津地域の自然・歴史・文化に関する説明を受けました。



### 参加者の声（アンケート等より）

- 豊かな自然や奥深い歴史を持つ奥会津地域について知るきっかけを持ててうれしかった。
- 地域の気候や文化といった特性を学び、その地域に寄り添った医療を提供しなければならぬと強く思いました。

## 6 研修の感想

### 〔感想①〕

病院だけでなく、医師と連携する消防署や地域の歴史・文化を伝える博物館についてもお話を伺うことで、医師と他職種の方との協力の重要性や、地域の一員として働くことについて改めて考えるきっかけとなりました。

今後このような機会があれば、例年通り2泊3日で行えればうれしいです。

### 〔感想②〕

全体として、南会津の医療や文化・歴史の魅力が伝わってくる、とても良い研修でした。

南会津では、高度な医療を提供するまでに時間がかかるという問題に医療と救急の連携で対処していること、また都市部の医療機関とは異なる強みを持っていることなどを知ることができました。

博物館では、これまで詳しくは知らなかった奥会津の歴史と文化について、たくさん興味深い話を聞くことができました。

地域医療に携わる将来の自分の姿が、以前よりも鮮明にイメージできるようになりました。

### 〔感想③〕

医療機関が近くにあまりない地域における医療の現状や、救急における取り組みなどの説明を聞いたことで、より地域医療について、深く知ることができました。実際にその地域で働いている医師や消防隊の話を聞くことは初めての経験であり、自分の今後の人生において大きな糧となるように、これからも努力していきたいと思います。

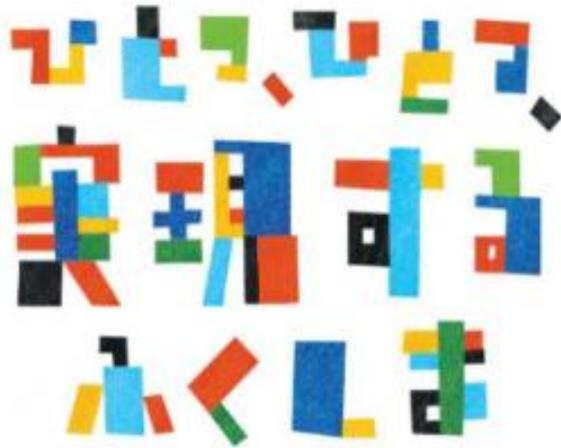
### 〔感想④〕

自分が地域医療をする上で何が必要なのか？ということあまり考えたことがなかったが、いろんな話を聞いて今後の過ごし方を変えるチャンスと思いました。会津に限らず、地域医療は、人同士が疎遠でない事、人員が少ないからこそできる事があり、魅力がたくさんあった。まず、その土地を知ることが大切な気がする。

### 〔感想⑤〕

今回は初めて実習を行うことができ、自分が将来医者になるという事を改めて自覚し、今後がんばっていきたいという気持ちになりました。今回の実習では、地域医療がテーマであり、座学では学べないようなことを多く学ぶことができました。

地域医療特有の問題や、都市部とは違った救急の対応など、とても勉強になることが多かったです。僕は東京都出身なので、このような機会があってよかったです。



地域医療体験研修 報告集

---

令和4年10月12日 発行



福島県会津保健福祉事務所  
福島県南会津保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課

電話番号 0242-29-5506

F A X 0242-29-5509

[aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp](mailto:aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp)

---